

今熊野児童館	目標	○児童館活動において、学童クラブ児童とともに自由来館児童にもさまざまな遊びの体験の機会を提供し、一人ひとりの児童が個性豊かでたくましく、思いやりのある人間として成長できるよう、主体性と自ら判断し決定する力を育てます。 ○乳幼児の保護者同士の交流の機会を設ける等、子育ての仲間づくりの場となるよう人と環境、相互に働きかける視点を持って活動を行います。 ○子どもと地域住民の世代間交流等の推進に取り組み、より敷居の低い児童館づくりを目指します。	○日常生活の中で子どもの自立を積極的に促進し、さまざまな生活場面に応じた判断力、行動力を育めるよう支援します。 ○あそびや活動を通して、子どもが達成感や学童クラブへの所属感を得られるよう支援します。 ○保護者の就労等の生活を継続的に支える安心安全な支援を推進します。
	成果	○小学生を対象としたクラブ活動や竹馬道場、検定といった各種の行事を通して、子ども同士がお互いに思いやりを持って行動すること、自らチャレンジすることで達成感を感じられるようにすること、を中心に支援し、主体性と自ら判断し決定する力を育てることができました。 ○乳幼児登録制クラブの活動を通じて、気軽に参加、相談しやすい雰囲気づくりに努め、孤立感や不安を感じやすい子育て家庭への支援を推進し、東山区での子育て支援の取組の利用促進も図ることができました。 ○児童館まつりなどの行事を通して、地域の方々に多くの参加をしていただき、地域での世代を超えた交流を推進し、地域の中の児童館という意識を高めていただくことができた。今後も、地域の方が気軽に訪れることができる場所を提供できるように努めます。	○縦割りのグループ活動を通して、上級生はリーダーシップを発揮して下級生をサポートし、下級生は上級生の姿を見てどのように行動すればよいかを学べるよう、支援、援助を行い、自分たちで、用意や片付けなどを役割分担して行うようになるなど、子ども一人ひとりの状況に応じた「生活力」を獲得させることができました。 ○保護者の状況に配慮し、ＩＣＴを積極的に活用するほか、従来からの電話やメールによる連絡手段の併用、お弁当いらないデー等の実施による負担軽減等を行い、「保護者としての役割」を継続的に支える援助を推進できました。今後も、相互の信頼関係を醸成できるよう、努めてまいります。